

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2005-523972(P2005-523972A)

【公表日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報 2005-031

【出願番号】特願 2003-587895(P2003-587895)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

C 0 9 J 133/06 (2006.01)

C 0 9 J 157/10 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00

A 6 1 L 31/00 Z

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 11/04

C 0 9 J 133/06

C 0 9 J 157/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 27 日 (2006.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a) ヨウ素可溶化液中にヨウ素を混合して、ヨウ素組成物を形成する工程と、
- b) ヨウ化物可溶化液中にヨウ化物塩を混合して、ヨウ化物組成物を形成する工程と、
- c) プレ接着剤組成物を提供する工程と、

上記のヨウ素組成物、ヨウ化物組成物およびプレ接着剤組成物をホットメルト混合機中で混合して、混合物を形成する工程と

を含む、ヨウ素 / ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を製造する方法であって、ヨウ素 / ヨウ化物錯化剤が前記混合物中に存在し、前記混合が、ヨウ素 / ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を形成するのに十分な混合で、温度約 130 ~ 約 200 にて行われる、方法。

【請求項 2】

- a) ヨウ素可溶化液中にヨウ素を混合して、ヨウ素組成物を形成する工程と、
- b) プレ接着剤組成物を提供する工程と、

上記のヨウ素溶液、およびプレ接着剤組成物をホットメルト混合機中で混合して、混合物を形成する工程と

を含む、ヨウ素 / ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を製造する方法であって、ヨウ素 / ヨウ化物錯化剤およびヨウ素還元剤が混合物中に存在し、前記混合が、ヨウ素 / ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を形成するのに十分な混合で、温度約 130 ~ 約 200 にて行われる、方法。

【請求項 3】

ホットメルトコーティング可能な接着剤組成物中に均一に分散された錯化ヨウ素 / ヨウ化物を含む、ホットメルトコーティング可能な接着剤であって、押出しコーティングするために、ホットメルト押出機において加工するのに適した形状である、接着剤。